

新潟県の農林水産業の概要

特徴・取組

新潟県は、本州の日本海沿岸のほぼ中央部に位置し、東西に山々がそびえ、信濃川や阿賀野川などの河川が日本海にそそぎ、広大で肥沃な平坦地を形作り、全国有数の食料供給基地を形成している。また、海岸線は非常に長く、砂丘が発達しているところも多くある。冬は多雪であり、特に魚沼や上中越地方の山間部は豪雪地帯となっている。

新潟県には、世界的に注目される技術やトップシェアを誇るものづくり企業が多くあり、出荷額では金属洋食器、石油ストーブ、米菓などが全国1位となっている。

耕地面積は北海道に次ぐ第2位であり、米の生産量は全国1位。砂丘地から山間高冷地まで特色ある気候風土を活かして多種多様な野菜、果物、花きを生産。「新潟米」、「錦鯉」、「新潟産えだまめ」、「ルレクチエ」、「越後姫」、「にいがた和牛」、「のどぐろ」、「南蛮エビ」の8品目を「県推進ブランド品目」とし、県産農林水産物全体の付加価値を高める牽引役として、ブランド化を進めている。GIについては、現在、「くろさき茶豆」、「津南の雪下になじん」、「大口れんこん」の3品目が登録されている。

新潟県では、「新潟県総合計画～住んでよし、訪れてよしの新潟県～」(令和7年3月改定)の下、「付加価値の高い持続可能な農林水産業の実現」を目指し、農業施策を展開している。

米政策については、「新潟米基本戦略」(令和7年3月改定)に基づき、需要に応じた生産を基本としつつ、主食用米と非主食用米を合わせた新潟米全体の需要拡大と生産者所得の最大化のための多様な米づくりを推進し、令和14年度の米等産出額1,458億円を目指すこととしている。

また、食料自給率向上のため、小麦粉消費量の10%以上を米粉に置き換える運動、「にいがた発「R10プロジェクト」」を全国に向け発信しており、令和7年4月23日現在で、166社の企業が参加している。

園芸振興については、新たな「新潟県園芸振興基本戦略」(令和7年4月)を策定し、園芸の販売額の向上を目指して、産地を牽引する核となる経営体を育成するため、技術・経営指導、新技術の導入、団地化・施設化を進めている。

主な農林水産物

水稻

「コシヒカリ」に代表されるお米の産地として全国的に有名。「新之助」は大粒でコクと甘みがある。

(収穫量全国1位)



西洋なし

「ルレクチエ」は、芳醇な香りと濃厚な甘み、なめらかな食感が魅力。

(収穫量全国2位)



えだまめ

GI産品「くろさき茶豆」は、茶色の薄皮と、茹でたときから感じる独特な香りに加え、食感の良さが特徴。

(作付面積全国1位)



すいか

南魚沼の「八色(やいろ)西瓜」は、糖度が高くシャリ感のある西瓜。市場からは高評価を得ている。

(収穫量全国8位)



かき

種なしで食べやすく、とても甘く、ビタミンCもたっぷりの「おけさ柿」は、佐渡産が有名。

(収穫量全国6位)



いちご

新潟県オリジナル品種の「越後姫」は、冬は大粒で甘みが強く、春は糖度と酸味のバランスを楽しめる。

(作付面積全国21位)



花き(ゆり)

落ちついた外観の「スカシユリ」、豪華な「オリエンタル系ユリ」の両方ともほぼ通年出荷。

(出荷量全国3位)



食用ぎく

「かきのもと」は、花卉は赤紫色で、花びらをサッと茹でたおひたしが一般的な食べ方。

(収穫量全国3位)



きのご類

県独自開発品種のえのきたけ(雪ぼうし)、ぶなしめじ(越のわらべ)などが有名。

(生産量全国2位)



錦鯉(観賞用)

発祥の地であり、雪国の清らかな水と伝統の技法で育てられた独特な色調をもつ「泳ぐ宝石」。

(経営体数全国1位)



新潟県内の各地域における農林水産物

県全域

【農畜産物】

水稻：代表品種

①コシヒカリ ②こしいぶき ③新之助 ④越淡麗（こしたんれい）（酒米）

大豆、そば、アスパラガス、とう菜、だいこん、越後姫（いちご）、いちじく

【畜産物】

にいがた和牛、鶏卵

【水産物】

南蛮エビ、ヤナギガレイ、ベニズワイガニ、マガレイ、アンコウ、ヤリイカ、マダラ、ノドグロ、タチウオ、マダイ、サヨリ、ミズダコ、サザエ、ワカメ、サクラマス、アユ、

佐渡（さど）地域

【農産物】

〔野菜〕八幡芋（さといも）、ゴーヤ、トキ色メロン

〔果樹〕おけさ柿、佐渡りんご、みかん、ル レクチエ（西洋なし）

【水産物】

佐渡寒ブリ（ぶり）、マガキ

中越（ちゅうえつ）地域

【農産物】

〔野菜〕えだまめ、越の紅（さつまいも）、にんにく、長岡巾着なす、山古志かぐらなんばん（とうがらし）、大口れんこん、黒十全（なす）、オータムポエム（アスパラ菜）、マコモダケ、つららなす、新道いも（さといも）、菜種、カリフラワー

〔果樹〕越の梅、おけさ柿、ル レクチエ（西洋なし）、ぶどう、もも、日本なし

〔花き〕おもいのほか（食用菊）

【畜産物】

ガンジー牛乳、虎千代鶏（にいがた地鶏）

【水産物】

錦鯉（観賞用）

上越（じょうえつ）地域

【農産物】

〔野菜〕越（こし）の丸茄子（なす）、頸城（くびき）オクラ、ずいき、わさび、オータムポエム（アスパラ菜）、ひとくちまくわ、ばななかぼちゃ、正善寺みょうが、うど、高田シロウリ

〔果樹〕ぶどう

下越（かえつ）地域

【農産物】

〔野菜〕やわ肌ねぎ、赤かぶ、くろさき茶豆（えだまめ）、とまと、やきなす、女池菜（とう菜）、じねんじょ、プチヴェール、れんこん、すいか、ごぼう、ながいも、さといも、きゅうり、越後白なす、ザーサイ、そらまめ、スイートコーン、メロン、かきのもと（食用菊）

〔果樹〕おけさ柿、ル レクチエ（西洋なし）、ぶどう、もも、日本なし、さくらんぼ、くり

〔花き〕ゆり（切り花）、トルコギキョウ、アザレア、チューリップ

〔その他〕村上茶（日本茶）

【畜産物】

村上牛、新発田牛、村上あじわいポーク、しろねポーク、にいがた地鶏、牛乳

【林産物】

雪ぼうし（えのきだけ）、菌床しいたけ、原木しいたけ

【水産物】

サケ

魚沼（うおぬま）地域

【農畜産物】

〔野菜〕八色（やいろ）西瓜（すいか）、八色っ娘（小玉すいか）、ズッキーニ、魚沼巾着なす、雪下にんじん、じねんじょ、かぐらなんばん（とうがらし）、深雪なす、たららの芽、うるい、モロヘイヤ、八色菜、大崎菜、カルビタマト（中玉トマト）、梵天丸（なす）、かぼちゃ、スイートコーン、メロン、カリフラワー

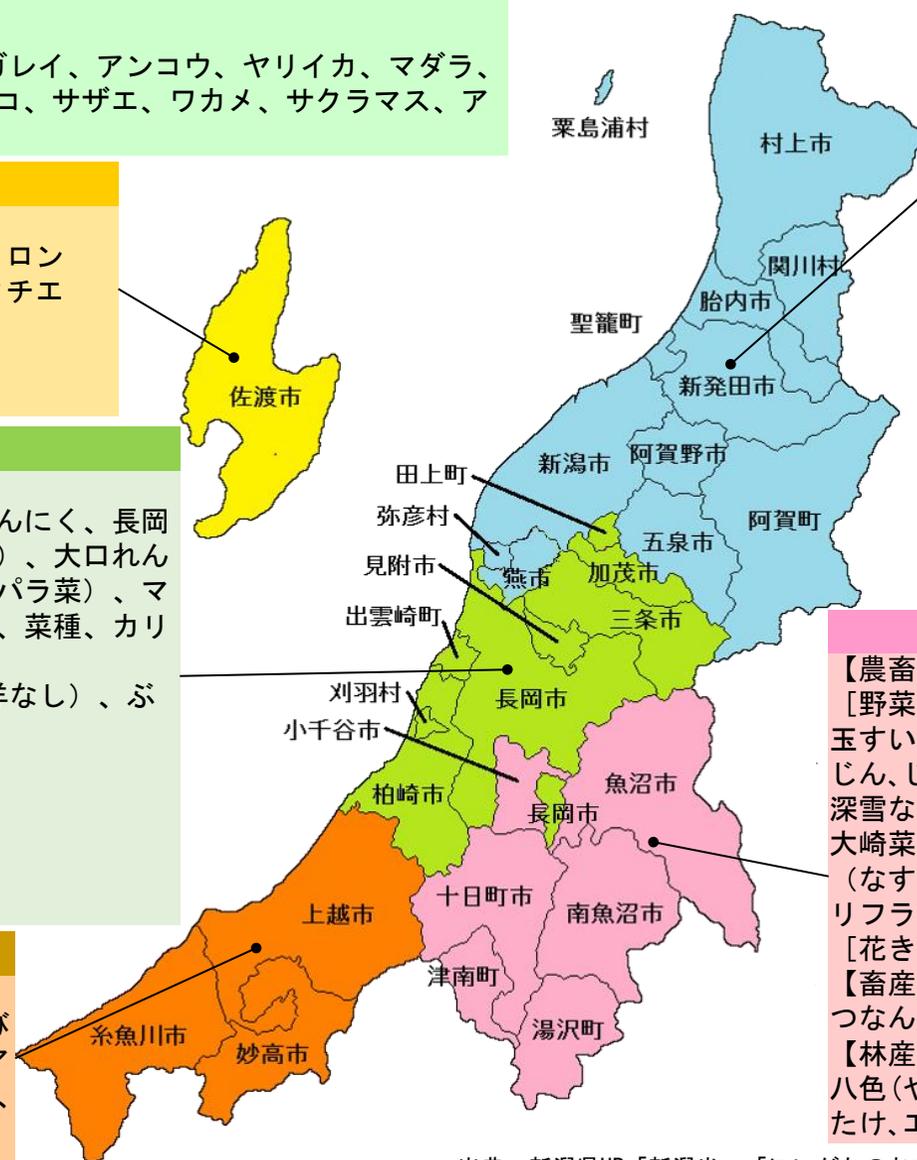
〔花き〕ゆり（切り花）

【畜産物】

つなんポーク、妻有ポーク

【林産物】

八色（やいろ）しいたけ、えのきたけ、ぶなしめじ、まいたけ、エリンギ、ひらたけ

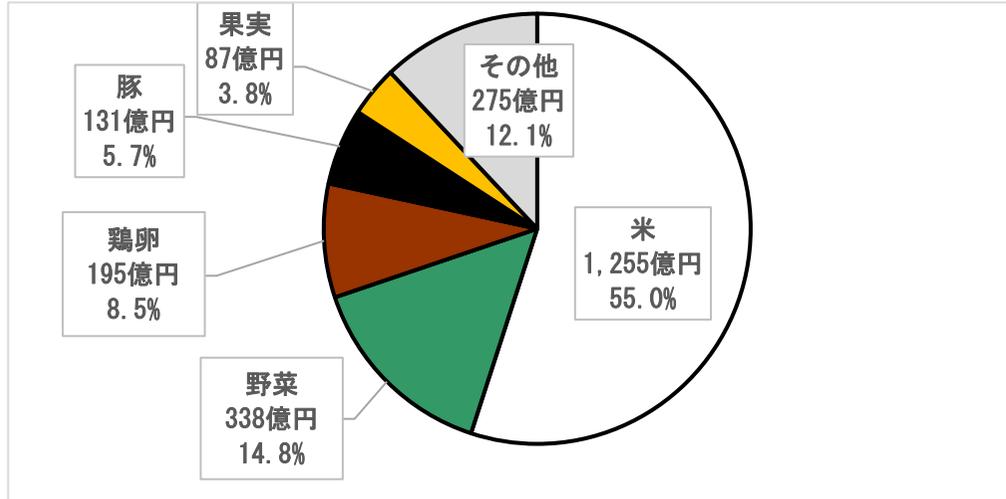


出典：新潟県HP「新潟米」「にいがたのおすすめ食材」「にいがた発「食」の情報 旬の情報」

新潟県の農業（1）

- ・農業産出額は2,281億円で全国14位。うち米が1,255億円（55.0%）、野菜が338億円（14.8%）、畜産が504億円（22.1%）。
- ・農畜産物の生産状況は、水稲が全国1位、西洋なしが2位、ゆり、食用ぎくが3位、かきが6位、大豆、えだまめが7位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	新潟県	全国	全国順位
水稲	収穫量	R6 622,800 t	7,345,000 t	1
大豆	収穫量	R5 7,100 t	260,800 t	7 *
だいこん	収穫量	R5 39,100 t	1,141,000 t	8
えだまめ	収穫量	R5 3,400 t	62,000 t	7
すいか	収穫量	R5 15,200 t	303,700 t	8
いちご	収穫量	R5 1,830 t	161,800 t	21
かき	収穫量	R5 8,920 t	185,200 t	6
西洋なし	収穫量	R5 1,540 t	19,700 t	2
ゆり	出荷量	R5 9,640 千本	101,800 千本	3
食用ぎく	収穫量	R4 55 t	564 t	3 *

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区分	新潟県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	2,281 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	14
米	1,255 億円 (55.0)	15,193 億円 (16.0)	1
麦類	0 億円	678 億円	27 *
雑穀	1 億円	77 億円	13
豆類	10 億円	572 億円	11
いも類	16 億円	2,301 億円	13
野菜	338 億円 (14.8)	23,243 億円 (24.5)	23
果実	87 億円 (3.8)	9,590 億円 (10.1)	26
花き	62 億円	3,522 億円	19
工芸農作物	4 億円	1,467 億円	25
その他作物	2 億円	585 億円	30 *
畜産	504 億円 (22.1)	37,212 億円 (39.2)	20
肉用牛	41 億円	7,696 億円	35
乳用牛	50 億円	9,249 億円	28
生乳	48 億円	8,310 億円	27
豚	131 億円	7,194 億円	17
鶏	281 億円	12,033 億円	19
鶏卵	195 億円	7,413 億円	18
ブロイラー	36 億円	4,471 億円	19 *
その他畜産物	1 億円	1,041 億円	38
加工農産物	2 億円	513 億円	27

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

新潟県の農業（2）

- ・耕地面積は16万6,500haで全国2位。うち田が14万7,800ha、畑が1万8,700ha。
- ・農業経営体数は4万3,502経営体で全国2位。うち法人経営体が1,218経営体で3位。
- ・認定農業者数は1万2,126経営体で全国2位。うち法人数が1,205法人で3位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が5億円で全国2位、経営体数は50経営体で4位。

耕地面積

区分	新潟県	全国	全国順位
耕地面積	166,500 ha	4,272,000 ha	2
田	147,800 ha	2,319,000 ha	2
畑	18,700 ha	1,952,000 ha	22
普通畑	16,000 ha	1,118,000 ha	17
樹園地	2,050 ha	248,600 ha	34
牧草地	687 ha	585,900 ha	20
参考) 総土地面積	12,583.67 km ²	377,975.68 km ²	5

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」
(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	新潟県	全国	全国順位
荒廃農地面積	2,448 ha	256,676 ha	34

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区分	新潟県	全国	全国順位
農業経営体数	43,502 経営体	1,075,705 経営体	2
法人経営体	1,218 経営体	30,707 経営体	3
総農家数	62,556 戸	1,747,079 戸	5
販売農家	41,751 戸	1,027,892 戸	2
参考) 世帯総数	864,750 世帯	55,830,154 世帯	15
集落営農数	701 集落営農	13,998 集落営農	5

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	新潟県	全国	全国順位
担い手への集積面積	112,286 ha	2,593,345 ha	2
集積率	67.2 %	60.4 %	8

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和5年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	新潟県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	46,085 人	1,363,038 人	8
男	30,257 人	822,144 人	6
女	15,828 人	540,894 人	12
65歳以上	34,754 人	948,621 人	4
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	75.4 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	12,126 経営体	216,784 経営体	2
法人数	1,205 法人	29,128 法人	3
参考) 人口総数	2,201,272 人	126,146,099 人	15

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	新潟県	全国	全国順位	
農産加工	総額	11,858 百万円	999,786 百万円	26
	事業体数	660 事業体	27,760 事業体	17
農産物直売所	総額	20,335 百万円	1,126,420 百万円	23
	事業体数	620 事業体	21,240 事業体	10
観光農園	総額	670 百万円	37,281 百万円	20
	経営体数	70 経営体	5,050 経営体	19
農家民宿	総額	524 百万円	5,352 百万円	2 *
	経営体数	50 経営体	1,140 経営体	4
農家レストラン	総額	712 百万円	39,434 百万円	23 *
	事業体数	40 事業体	1,360 事業体	8

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

新 潟 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は472.3億円で全国2位。うち木材生産が13.8億円、栽培きのご類生産が457.3億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国36位、なめこ、ひらたけ、まいたけが全国1位、エリンギが2位。

林業産出額

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
林業産出額	472.3 億円	5,562.5 億円	2
木材生産	13.8 億円	3,257.0 億円	35
栽培きのご類生産	457.3 億円	2,199.2 億円	2

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
素材生産量	118 千m ³	20,647 千m ³	36
針葉樹	114 千m ³	18,926 千m ³	33 *
すぎ	113 千m ³	11,917 千m ³	26
からまつ	1 千m ³	1,837 千m ³	18 *
広葉樹	4 千m ³	1,721 千m ³	34 *
なめこ	生産量 5,525 t	23,752 t	1 *
ひらたけ	生産量 1,842 t	4,372 t	1 *
まいたけ	生産量 35,642 t	55,290 t	1 *
エリンギ	生産量 12,015 t	35,793 t	2 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
林野面積	802,757 ha	24,770,201 ha	7
国有林	224,780 ha	7,153,338 ha	8
民有林	577,977 ha	17,616,863 ha	5
人工林面積	161,634 ha	10,133,111 ha	27

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
製材工場数	129 工場	3,749 工場	6
製材用素材の入荷があった工場数	129 工場	3,722 工場	6
国産材のみ	104 工場	3,116 工場	9
国産材と輸入材	21 工場	511 工場	8

出典：「令和5年木材統計」

林業経営体数

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
林業経営体数	637 経営体	34,001 経営体	21
法人経営体	111 経営体	4,093 経営体	11

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

新潟県の漁業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は144億円で全国29位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のべにずわいがに、さざえが全国3位、内水面漁業のふなが2位、内水面養殖業のにじますが11位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が1億円で全国13位、経営体数は20経営体で8位。

漁業産出額

区分	新潟県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	144 億円	15,265 億円	29
海面漁業	134 億円	9,534 億円	20
海面養殖業	10 億円	5,731 億円	28

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	新潟県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	1,033 経営体	65,662 経営体	24
内水面漁業経営体数	262 経営体	4,076 経営体	5

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	新潟県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	1,500 人	121,389 人	26
男	1,453 人	109,757 人	26
女	47 人	11,632 人	29

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	新潟県	全国	全国順位
漁船隻数	1,439 隻	109,283 隻	25
動力漁船	541 隻	58,906 隻	31

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	新潟県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	29,089 t	3,777,921 t	26 *
海面漁業漁獲量	27,819 t	2,926,411 t	21
べにずわいがに	1,803 t	13,371 t	3 *
さざえ	417 t	3,775 t	3
海面養殖業収穫量	1,270 t	851,509 t	26 *
かき類	499 t	149,064 t	13 *
わかめ類	28 t	49,588 t	20 *
内水面漁業・養殖業生産量	360 t	51,908 t	17 *
内水面漁業漁獲量	217 t	21,567 t	8 *
ふな	50 t	284 t	2 *
内水面養殖業収穫量	143 t	30,341 t	23 *
にじます	109 t	4,734 t	11 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	新潟県	全国	全国順位	
水産加工	総額	392 百万円	179,159 百万円	30 *
	事業体数	10 事業体	1,220 事業体	25
水産物直売所	総額	647 百万円	34,988 百万円	18 *
	事業体数	20 事業体	810 事業体	11
漁家民宿	総額	131 百万円	5,389 百万円	13 *
	経営体数	20 経営体	540 経営体	8
漁家レストラン	総額	161 百万円	13,249 百万円	20 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

新潟県の農林水産業の話題等

新潟県内での耕畜連携の取組

新潟県の酪農や肉用牛は、他県と比べ小規模な経営体が多く、また稲作が盛んで水稲栽培を前提とする農地利用意識が高く、自給飼料生産は限定的で輸入飼料への依存度が高かった。一方、稲作農家では、飼料米以外の飼料作物にはなじみがなく、稲WCSを認知していても興味を持たれることは少なかった。令和2年からの飼料価格高騰により畜産農家の国内産粗飼料への需要が高まる一方で、稲作農家では規模拡大が進み作業分散とコメに代わる転作作物の必要性が高まっていた。

こうした中、①県地域振興局は、現地実証や研修会の開催、経営試算の提示や地域の実態に併せた各種対策の働きかけをし、②国（県拠点）は、稲作関係団体の勉強会等で稲作農家にとっての稲WCSのメリットを繰り返し説明した。また、③稲作農家の機械導入等を国庫事業や県単独補助事業で支援するとともに、④県・関係機関・国（県拠点）が連携し、畜産農家と稲作農家のマッチングを行った。結果、耕畜連携の取組が県内各地で始まり、稲WCSの作付面積が大幅に拡大した。

令和4年に酪農家と稲作農家が共同で立ち上げた「新発田コントラクター」では、稲WCSに加え飼料用とうもろこしや牧草の生産にも取り組み、酪農家の堆肥を圃場に還元している。同組織の取組は、各種マスメディアで繰り返し紹介され、さらに耕畜連携への関心を高めている。

新潟県酪農業協同組合連合会の調査によれば、畜産農家の国産飼料への需要は根強く、今後も耕畜連携の進展が見込まれる。



稲WCS収穫実演会（新潟地域振興局主催）の様子



新潟県内の稲WCS作付面積の推移(単位: ha)

新潟県産の米粉用米の取組

米粉は、古くは奈良時代からせんべいや和菓子に使われてきたが、最近では、細かく粉にする技術が進化し、パンやケーキ、麺類などの様々な加工品が米粉で作られるようになった。

新潟県の米粉用米の作付面積は全国1位の1,389ha（令和6年産新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況（9月15日現在））。全国に占める割合も21.9%となっている。米の生産量も全国1位であることに加え、米を「米粉」に製粉できる工場（製粉工場）も多いことから、米粉用米の作付けが盛んである。「米粉」を原料としたパンやお菓子、麺などの商品もたくさんあり、家庭での料理にも使える。

また、令和6年4月、米粉のまち、胎内市に亀田製菓(株)グループである(株)タイナイの米粉パン新製造工場が建設された。

新工場は、農林水産省の「令和4年度米粉の利用拡大支援対策事業」のうち「米粉製品製造能力強化事業」を利用しており、半自動化した生産ラインの導入等により従来の工場と合わせて3倍の製造量となる。米粉の普及とともに更なる利用促進が期待される。

従来の米穀粉

新たな用途に使える米粉

細かい粒子の細かさ

多量 少量

多い 少な

ロール式粉砕装置

気流式粉砕装置

様々な加工食品

新たな用途に使用できる米粉（図の右側）



竣工式の様子